

# 取扱説明書

混合水栓

MIX02



この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
長い間ご愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
また、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

# 目次

|   |                                              |
|---|----------------------------------------------|
| 1 | はじめにお読みください ..... (2)                        |
|   | 仕様一覧<br>梱包内容の確認                              |
| 2 | 安全上のご注意..... (3-5)                           |
|   | 取り付ける前に                                      |
| 3 | 取り付け方法..... (6)                              |
| 4 | 使用方法 ..... (7)                               |
|   | 出・止水方法<br>温・冷水の切り替え<br>水流モード切り替え<br>ホースの引き出し |
| 5 | ご使用上の注意 ..... (7-9)                          |
|   | ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合<br>流量の調整                  |
| 6 | お手入れについて..... (10)                           |
| 7 | 冬期凍結の恐れがある場合(寒冷地の水抜き方法)..... (10)            |
| 8 | 保証とアフターサービス..... (11)                        |
|   | 保証サービスについて<br>保証書                            |

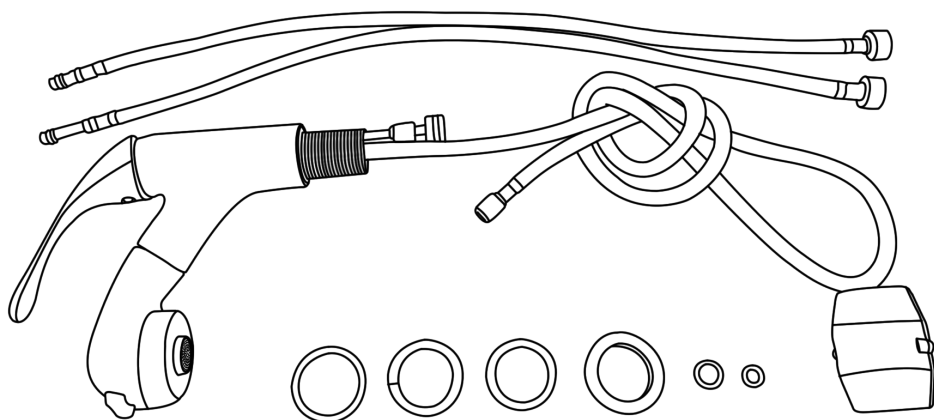
# はじめにお読みください

| 仕様一覧          |                   |
|---------------|-------------------|
| 品番            | MIX02             |
| 本体寸法（長さ×幅×高さ） | 17.5cm×5.5cm×22cm |
| 本体質量          | 600g              |
| ホース長さ         | 100cm             |

## 梱包内容の確認

※本製品をご使用いただく前に、全ての付属品がそろっていることをご確認ください。

- 水栓本体
- ナット
- シリコンリング
- カバー
- カバーゴム
- シリコンワッシャー
- 送水管×2(温冷)
- 重し
- ゴムパッキン黒
- ゴムパッキン白
- 取扱説明書(本書)



# 安全上のご注意

- ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 用語および記号の説明

### 注意

「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的 損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



.....「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みにになり、記載事項をお守りください。）



.....「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



.....「分解してはいけません！」



.....「指示した場所に触れてはいけません！」



.....「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

## 注 意

水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。※ヤケドをする恐れがあります。



高温の湯をお使いのときには、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。※ヤケドをする恐れがあります。



高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。  
※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



|                                                                                                                   |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。(一般地の場合) 寒冷地の場合は、配管の水抜操作を行ってください。<br/>※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p> |    |
| <p>お湯を止めるときは、必ずレバーハンドルを水側にしてから 閉めてください。<br/>※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>                            |    |
| <p>お湯をお使いになるときは、必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。<br/>※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。</p>   |    |
| <p>他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。<br/>※同時使用のないように注意しないとヤケドをする恐れがあります。</p>                         |    |
| <p>ホース引き出し部分を落としたり、強い力や衝撃を与えないようにしてください。<br/>※破損して、水濡れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>                             |    |
| <p>シャワーホースを引き出したまま放置しない。<br/>※破損して、水濡れによりかざいなどをぬらす財産損害発生の恐れがあります。</p>                                             |  |
| <p>湯水を逆に配管しないでください。<br/>水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。</p>                                                          |  |
| <p>ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。<br/>※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>                               |  |

|                                                                                                  |                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。<br/>※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。</p>                            |  |
| <p>給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。<br/>※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。</p>                                    |  |
| <p>ご使用時は水側から吐水してください。通水後、ゆっくり高温側へ調節し、必ず素手で適温であることを確かめてください。<br/>※高温の湯が出てヤケドする恐れがあります。</p>        |  |
| <p>オーバーフロー穴のないタイプの手洗器・洗面器と組み合わせる場合、あふれ防止のため吐水中はその場を離れないでください。<br/>※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p> |  |

## 取り付けの前に

商品を取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。**

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターや吐水口に詰まり、以下の事象が発生します。

- ①吐水量が少ない
- ②温度調節がうまくできない

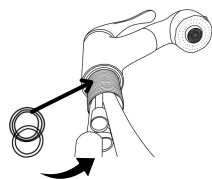
**給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。**

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。

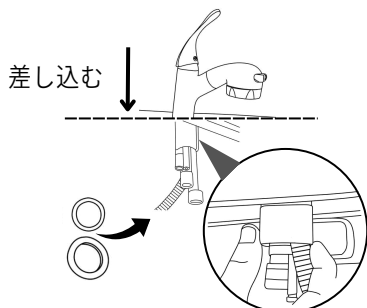


# 取り付け方法

1.カバーとカバーゴムを組み合わせ、水栓本体の底部から通して根元に取り付けます。

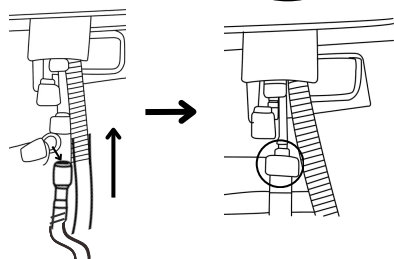


2.水栓本体を取り付け穴に差し込みます。



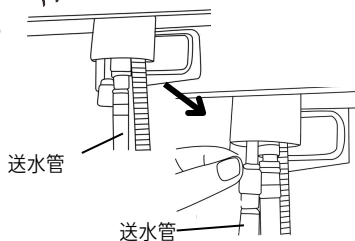
3.差し込み後、水栓の底部にシリコンワッシャー、ナットの順で取り付け、洗面台に固定します。

4.引き出しホースの接続部分にゴムパッキン(黒)を乗せ一番長い接続口に差込時計回りに回ししっかり取り付けます。

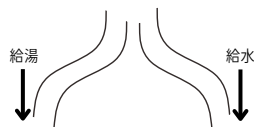


5.送水管の先が細いほうをそれぞれの接続口にとりつけます。

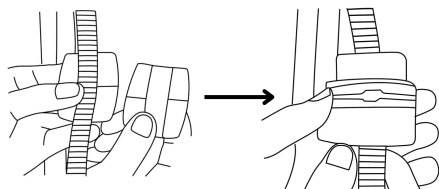
※赤色の送水管は左の接続口(短)に、青色の送水管は右の接続口(長)にとりつけてください。



6.正面から見て左側の送水管を給湯管へ  
右側の送水管を給水管へそれぞれつなぎ  
取り付けが完了します。



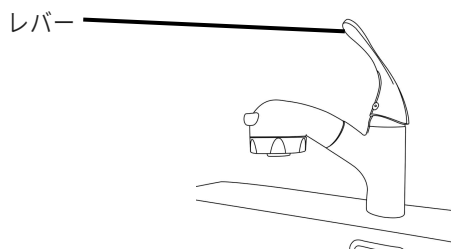
7.重しのネジをはずし、引き出しホースの中心に合わせて重しを取り付けねじ止めします。



# 使用方法

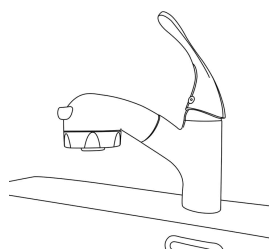
## 出水・止水方法

- ・レバーを上げることで水がでます。
- ・レバーを下げることで水が止まります。

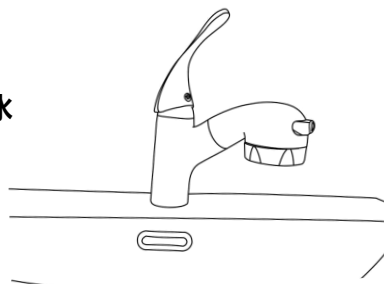


## 温・冷水の切り替え

- ・正面から見てレバーを左に動かすと温水、右に動かすと冷水がでます。

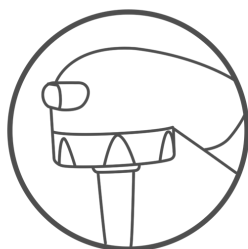


温水 ←→ 冷水



## 水流モード切り替え

- ・黒いスイッチを押すことで2つのモード切り替えが可能です。

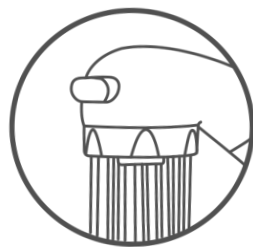


泡沫整流モード

スイッチを左



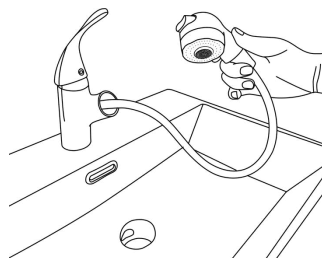
スイッチを右



シャワーモード

## ホースの引き出し

- ・蛇口の先端を手前に引くことでホースの引き出しが可能です。(最大100cm)



# ご使用上の注意

## ◇ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

- ・比例制御式の給湯器の設定は温度調節を高温にしてください。
- ・能力切替付の給湯器では能力を季節に合わせてご使用ください。

※流量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。

- 給水圧が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。このときは給湯器の設定温度（能力切替付は能力）を少し下げてください。

## ◇流量の調節

水圧が高いところで使用される場合は水側の止水栓を絞ってご使用ください。  
湯と水の流量がほぼ同じになるように水の量を絞ってください。

- 水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。  
※ヤケドをする恐れがあります。



- 高温の湯をお使いのときには、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。  
※ヤケドをする恐れがあります。



- 高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。  
※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



- お湯を止めるときは、必ずレバーハンドルを水側にしてから閉めてください。  
※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



- 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。  
※ケガをしたり。故障・破損の恐れがあります。



- お湯をお使いになるときは、必ずレバーハンドルを水側から 開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。  
※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。



- 他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用  
中に湯温が急上昇することがあります。  
※同時使用のないように注意しないとヤケドをする恐れがあります。



- 凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。(一般地の場合) 寒冷地の場合は、配管の水抜操作を行ってください。  
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



- ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、  
ゆっくり操作してください。  
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。  
※水を急に止めるときに発生する配管の衝撃をやわらげる機能が付いています。このため、急に閉めようとするとハンドル が重く感じる  
ことがあります。



- 本製品を取り付ける前に水道管を洗浄し、目詰まりなどで出水に影響がないかの点検を行ってください。
- 本製品に酸やアルカリなどを含んだ洗剤を使用するとメッキコーティングが剥がれる場合がございますので、表面の汚れを落とす場合は専用のワックスで拭き取ってください。
- 破損する恐れがございますので本製品に過度な力や衝撃を与えないでください。
- 本製品は水圧0.6MPaまでの水道水、90℃以下の温水に対応しております。

# お手入れについて

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。

◇水栓の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤
- ナイロンたわし、ブラシ等
- シンナー、ベンジン等の溶剤

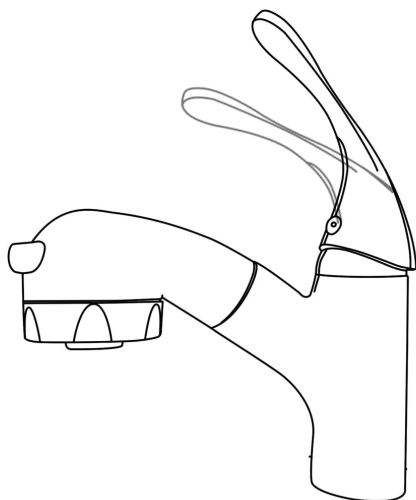
- ・壁面タイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。

## 冬期凍結の恐れがある場合(寒冷地の水抜き方法)

凍結が予想される場合は、次の要領で水栓の水抜きをしてください。

1. 配管の水抜栓を操作する。
2. レバーハンドルを上げる。  
(水、湯の中間で全開)
3. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドルを閉める。

※ 開けたまま放置するとレバーハンドルを閉止できなくなることがあります。  
無理な操作をせず通水または自然解凍してください。



# 保証とアフターサービス

## 保証サービスについて(必ずお読みください)

### (1) アフターサービスを依頼されるときは

- ①万が一商品に初期不良や故障などが発生した場合、  
また使用中に不明点が発生した場合は、いつでもお気軽にお問い合わせください。
- ②連絡先：  
アカウントサービス      注文履歴      ご注文      「注文に関する問題」      「出品者に問い合わせる」

### (2) ご相談されるときは

上記購入サイトから、もしくは support@levelstep.jp までお問い合わせください。

## 保証書

本書はお買い上げの日から特定の期間内に故障が発生した場合には  
保証対応をお約束するものです。

|       |                                     |  |
|-------|-------------------------------------|--|
| 品名    | MIX02                               |  |
| ご注文番号 |                                     |  |
| 販売店   |                                     |  |
| お客様   | お名前                                 |  |
|       | 住所                                  |  |
|       | 連絡先                                 |  |
| 販売元   | 株式会社レベルステップ<br>神奈川県相模原市中央区相模原6-22-9 |  |